ノコトハフィシャーノ詳シイ研究デ明カニサレタ

コノ菌ハエングレル氏ノ分類ニ據ルト眞正擔子菌目、硬皮薑亞目たまはじきたけ科、たまはじきたけ屬ニ屬シ學名ヲ Sphaerobolus Carpobolus L. (S. stellatus Tode.) ト云フ、コノ Sphaero ハ球ノ意デ bolus ハ投ゲルノ意デアル、獨逸デハ同ジ意デ Kugelschneller ト呼ブ、一科一屬デ五種許リ發見サレテヰルガソノ中デコノ一種ガ詳シク記載セラレテヰルダケデアル、外國ノ書物ニハ分類學上、生理學上興味アル菌類トシテ廣ク載ッテヰルガ我國デハ其學名ハ既ニ分ッテ居ッタガ近年朝比奈泰彥博士ハ其形狀ヲ圖說セラレ之レヲ昭和三年九月發行ノ本誌第五卷第九號第三二二頁ニ於テ發表セラレタ、私ハ今此ノ興味多キ菌ニ就イテコヽニ簡單ナ所見ヲ記シ諸君ノ參考ニ資セント欲スル次第デアル、終リニ、種々御敎示ヲ賜ヒタル理學博士川村清一氏ニ對シ厚ク感謝ノ意ヲ表ス、（恩師故安田篤先生ヲ偲ビツヽ、一九二九・七・二〇・）

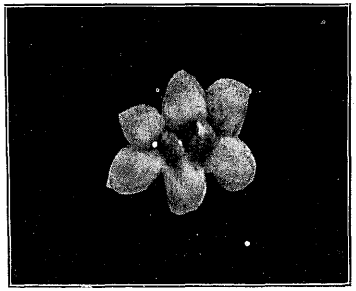
圖解

1. 朽木狀ノ土粒層ヲオシ上ゲテ生殖體現ハル、未ダ外皮ヲ開カザルモノ、星狀ニ開ケルモノ、子實層ガ反轉セルモノ等ヲ見ル（自然大）
2. 未ダ外皮ヲ開カザルモノヲ上面ヨリ見ル、土粒中ニ頭端ヲ出ス（×5）
3. 同上側面（×5）
4. 土粒ヲ洗ヒ外層外皮（褐色）ヲ剝離セルモノ、第二層白色（×5）
5. 外皮開裂セルモノヽ上面（×10）
6. 同上側面
7. 內側外皮反轉シ胞子囊ヲ彈キ飛バセル狀（×10）
8. 內側ノ外皮（鉛色緣邊黃色）（×10）及ビ斷面ヲ示ス
9. 假柔組織層（白色）（×10）及ビソノ斷面ヲ示ス
10. 4ヲ縱斷シ外皮及ビ胞子囊ヲ示ス　a 外層外皮、b 中央外皮　c 內層外皮　d 子實層　e 胞子囊　h 空室
11. 同上一部擴大、若クシテ未ダ擔子胞子成熟セズ、老成スレバ此レ等空室ヲ見ル能ハズ
12. 成熟セル擔子胞子ト芽體ヲ示ス、B 擔子細胞　B.S 擔子胞子　G 芽體

○杜仲軒赭鞭夜話（十二）

久内清孝

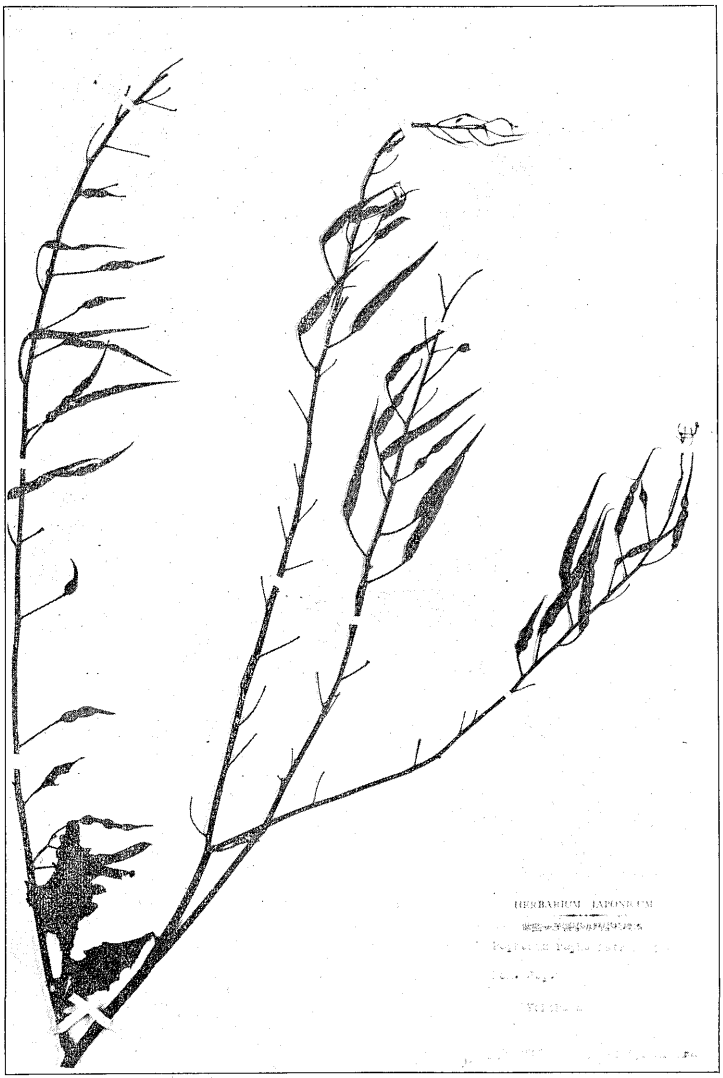
●とべら科（Pittosporaceae）ノ花ノ特徴ヲ見ルニ萼片モ瓣片モ共ニ五數デアルコトハ動カナイ、コレハエングラーヲ見テモウイリスノ字典ヲ見テモ、更ニマタ近頃一新機軸ヲ出シタハッチンソンノ書ヲ見テモ同樣デアル然シコレハ當然ノコトデ誰レガ見テモ、數ヘテモ五枚ノモノガドコマデモ五枚デアルコトニハ何ンノ不思議モナイガ時ニハ同一ノ株中、イヤ、同一花序中ニ六枚ノモノモアル、シカモ別ニ奇形ト云フ樣ナモノデナク、立派ニ六個ノ瓣片ノ存在シテ居ル場合モアッテ其六枚ガ整然ト配列シテ居テ完全ナル整形花冠ヲナシテ居ルモノガアル、勿論之ヲモッテ直チニ6 merous デアルト言フノデハナイガ、時ニハコンナモノモアルト云フコトヲ寫眞ヲ以テ證明シテオク、マタ花ノ色ガ開花當時ト末期トニ於テハ變化スルモノデアルコトモ事實デアルコンナコトハ、かなびさうナドデハ通常ナコトデアルト見エ書物デソンナコトヲ明記シタノモアル、マタえごのきノ瓣片モ色々アッテ一定不變デナイカラ面白イ、全クモッテ生物學ハ生キタ學問デアル



一ノ花ノとべら（大廓）

げうちゃんぢ（小縮）

●ぢんちゃうげノ花ハ通常ハ莖ノ先端ニ集マルガ時ニハ寫眞ノ樣ニ枝ニ咲クコトガアル、先端ニ密集シテ居テ



西洋のだいこん (Raphanus Raphanistrum L.)

縮シタ互生葉ガ輪狀ニ配列シタ中央ニ咲ク場合ニハ氣モツカナイガ此ノ寫眞ノ樣ナ場合ニハ其花序ガ總狀花序デアルコトガハッキリス ル然シテ總狀花序ガ一々葉腋カラ發生シテ居ルノデアルコトモ判然ト見分ケルコトガ出來ル、コンナ場合ハおにしばりヤ

さつまふぢヤ西洋ノ Daphne Mezereum L. ナドニ就テ見レバアタリマヘノコトデアル

◉節裂果ノ例トシテ下山、柴田兩先生ノ藥用植物學ニハまだいこんノ果實ノ圖ガ示シテアル然シ實際我ガはまだいこんノ果實ニハコンナ明瞭ナモノノナイコトハ本邦植物ノ生態ニ通ジタ人ハ何レモ同樣ニ感ズルデアラウ此ノ事ニ關シ牧野先生ハ其書ノハ西洋ノはまだいこん (Raphanus Raphanistrum L.) デアラウト言ハレテ居タ然シ本邦ニ自生ガナイタメ之ヲ實見スルコトガ出來ナカッタガ最近其實物ガ橫濱デ見付カッタノデ明瞭トナッタ、コノモノハ本邦產ノト異リ果實ノ直徑短カク且花色ハ雲鬢ノ如ク黃色デアル、橫濱デハ砂地デナク荒蕪地ニアル其發見者木村君代氏ノ好意ヲ謝スル【牧野云フ】私ハ之レヲ西洋野だいこんト稱スルコトニシタ是レハ海邊デナクきび畑ナドニ生ズルカラデアル

因ニ言フ橫濱ノ山手、山下町ノ震災後ノ空地ニハ外來植物ノ出現多ク時ニ珍妙ナモノニ出合フ場合ガ多イ、余ハ先日モ數時間デ澤山ノ種類ヲ見出シ得タ其中ニハ目下詮議中デ恐ラク近イ將來ニハ判リサウニモナイモノガ多イガ內ニ Rubus fruticosus L., Lappula echinata GILIBERT., Potentilla sp. ナドモアッタ、サーサー研究家ハ行クベシ〳〵

マタ曾テ橫濱ニ產スルカドウカ判ラナカッタきけまん、いぬむらさき、うらじろあかざナドハ可ナリ廣イ範圍ニ繁殖シ先年大阪附近ニ澤山アッタ北米原產 Aster subulatus MICHX. (はゝさぎく一名あれちしをん) モポツポツヤッテ來テ居ル、マタ牧野先生ガ本誌三ノ八ノ歐文欄ニ Erigeron musashensis (おほあれちのぎく) トシテ命名發表サレタモノハ近年非常ニ多クナッタ其他ニ就テハ何レマタ更メテ報告スル豫定デアル

○しろつめくさノ花

久內淸孝

しろつめくさノ花序ハ何ント云ッタラヨカラウ、恐ラク有柄ノ花ガ頭狀ニ集ッタモノデ擬頭狀花トデモ云ヘ樣、